卒業論文

若者世代の「地元」と「当事者」意識の形成過程

平成 23 年度入学

九州大学　文学部　人文学科　人間科学コース

社会学・地域福祉社会学部門

平成 27 年 1 月提出

要旨

「地元の当事者によるまちづくり」が注目されるようになった一方で、地元や当事者そのものについて論じた研究は少ないように思える。本論文では、筆者がＹプロジェクト（Ｙ市定住促進若者会議）に参加して持った「地元とはなにか」、「当事者とはなにか」という疑問をもとに、若者がまちづくりなどの活動を通して、「地元」と「当事者」を見つけていく過程を取り上げている。

序章では、筆者が「地元」と「当事者」に疑問を持ち始めたきっかけと研究の目的を述べている。

第１章では、まちづくりについての先行研究とまちづくりの先行事例の整理をしている。筆者が参加したＹ定住促進若者会議は、広義での「地域活動」、「まちづくり」に含まれる。まず「地域活動」や「まちづくり」についてまとめ、環境問題などに対するまちづくりでの「当事者」意識形成が、人口減少問題ではおきにくいことを指摘している。

第２章では、先行研究とインタビューをもとに本論文での「地元」と「当事者」の扱いについてまとめ、それをふまえた問題意識を述べている。当事者や地元には明確な定義はなく、一言で言っても同じものを指しているとは限らない。先行研究や複数の人のイメージから、筆者が見た「地元」と「当事者」を示し、「当事者」になるまでにはいくつかの段階があるのではないかという仮説を立てた。

第３章では、調査対象の概要と調査データの整理をしている。Ｙ市では人口、特に若者人口の減少が問題となっている。Ｙ市で「当事者」として活動している方々と行政職員へのインタビューから、実際に「当事者」はＹ市の現状と課題をどう感じているのかまとめた。それをふまえ、大学生がおこなったディスカッションで、大学生がＹプロジェクトを通して地元についてどのように考えているかまとめた。

第４章では、「地元」と「当事者」についての考察と今後の課題をしている。先行研究をもとに「当事者」の段階を設定し、インタビュー対象者がどの段階にいるかの分類をした。段階に便宜的に順位をつけ、次の段階に移行するためのきっかけについても触れている。また、「地元」と「当事者」の関係について述べ、「地元」において「当事者」になるとはどういうことか考え、「地元」と「当事者」の今後の課題について記述している。

目次

序章　研究の背景・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1

第１節　研究のきっかけ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2

第２節　研究の目的・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3

第１章　先行研究の整理・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4

第１節　まちづくりに関する研究・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4

1.1　まちづくりの変遷と現状・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・4

第２節　先行研究の整理・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 9

2.1　先行事例から見る行政と住民の協働による地域活動の成功と新たな課題・・・・・・・・・・・・・9

2.2　先行事例「一村一品運動と大山町」の概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・10

2.3　先行事例の小活・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・12

第２章　本論文での「地元」と「当事者」の扱い・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 14

第１節　当事者について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 14

1.1　「当事者」の先行研究―「当事者主権」での当事者の扱いとまちづくりへの応用―・・・・・・・14

1.2　先行事例における当事者・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・15

1.3　本論文での「当事者」の扱い・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・16

第２節　地元について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 17

2.1　地元に対する人びとの考え方・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 17

2.2　Ｙプロジェクト参加者の地元観・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 17

2.3　本論文での「地元」の扱い・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 20

第３節　先行研究をふまえた問題意識・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 22

3.1　高まる「社会貢献」の意識・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 22

3.2　「現場」の声との矛盾・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 24

3.3　矛盾からみる、若者の「当事者」意識の欠除・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 24

第３章　調査データ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 26

第１節　調査対象の概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 26

1.1　Ｙ市の概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 26

1.2　Y 市定住促進若者会議・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 29

第２節　調査データの整理・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 30

2　調査概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 31

第１項　「当事者」へのインタビュー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 31

第２項　行政から見た Y の課題・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 38

第３項　大学生の意識・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 40

第４章　「地元」と「当事者」意識の形成過程・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 47

第１節　「当事者」意識の形成段階・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 47

1.1　先行研究をもとにした「当事者」意識の形成段階・・・・・・・・・・・・・・・・ 47

1.2　次の段階への以降のきっかけ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 50

1.3　当事者段階のまとめ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 52

第２節　「地元」と「当事者」についての考察・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 54

2.1　「地元」観と「当事者」意識の関係性・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 54

2.2　「地元」観の形成について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 55

2.3　次の段階へのきっかけについての考察・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 57

第３節　今後の課題・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 59

3.1　「地元」と「当事者」の課題・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 59

第４節　研究の課題・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 62

おわりに・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 63

参考文献・資料・ウェブページ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 64